# 第7回 札幌電子書籍勉強会

# パブーズ電子書籍を作ろう

製作 アイソメ万太郎



eBook PUBLISHING PLATFORM by >'npn'

本書は、私のようなHTMLがわからない初心者ユーザーが、パブーで電子書籍の製作から公開まで に行った一連の手順をまとめたものです。

おおよそ、パブーの公式マニュアルの流れに沿っています。

(ページの冒頭に、パブー公式マニュアルのページ番号を記載しています)

マニュアルを読んでいても戸惑いそうなところ、マニュアルに記載のないことなどに補足も付け 加えています。

「パブー興味はあるけど二の足を踏んでしまう」といった方は、ぜひ一度本書をご覧になってく ださい。

(本書の内容は「第7回札幌電子書籍勉強会」にて行われたデモンストレーションです)

- 1. パブーをはじめる前に用意しておくもの
- 2. ユーザー登録をする
- 3. プロフィールを設定する
- 4. 本を作る
- 5. 本の削除
- 6. 章の設定
- 7. ページの管理
- 8. ページの作成と編集
- 9. 画像を挿入する
- 10. ページの作成状態を変更する
- 11. PDE · ePub
- 12. 本を公開する
- 13. 試し読み設定
- 14. 公開した電子書籍の宣伝をする
- 15. 電子書籍の公開後

パブーのユーザー登録を始める前に、あらかじめ以下のものを用意してください。

- ・メールアドレス
- ・電子書籍用のリーダー

(iBooksに対応している端末、Adobe Digital Editions、FirefoxのePub Readerなど)

- · Adobe Reader
- ・印税の振込先銀行の口座

(電子書籍を販売して、印税を現金で受け取る場合)

- ・<u>おさいぽ!</u>のID
  - (パブーに登録されている電子書籍を購入する場合)

## P1.ユーザー登録をする、P2.ブクログIDでログインする

すでにブクログでユーザー登録している方は、ブクログIDでログインできます。 (ユーザー登録は不要です)

パブーではじめてユーザー登録する方は、こちらでユーザー登録をします。 (パブーのユーザー登録をすると、パブーのIDでブクログへログインできるようになります)

ユーザー登録後、登録したメールアドレス宛に確認メールが届きます。 メールに確認用のURLアドレスが記載されているので、そこへアクセスしてください。アクセス 後にユーザー登録が完了となります。

> この度は、ブクログのバブーにお申込みいただき、誠にありがとうございます。 下記URLをクリックすると、メールアドレスの確認が完了致します。 <u>https://p.booklog.jp/signup/mail/</u> ※URLが2行に分かれている場合、1行目、2行目をあわせてご使用ください。

> > メールに確認用URLが記載されている

ユーザー登録後、以降はログイン画面からログインします。

## P3. プロフィールを設定する

パブーに登録後、こちらで電子書籍用のプロフィールを設定します。 プロフィールの設定は後で[設定変更]にて変更できます。

#### ・プロフィール変更

[ニックネーム]が電子書籍の著者名となります(ブクログIDはログイン用です)。

その他、PRしたいことを書き込みましょう。

なお、プロフィールの生年月日が未設定あるいは18歳未満の場合、カテゴリが[アダルト]に設定さ れている電子書籍は閲覧できません。

([アダルト]の電子書籍の製作はできるみたいです)



成人していないと警告が表示され閲覧できない

・銀行口座設定

印税の残高が3,000円以上の場合に、指定の口座に印税が振り込まれます。 印税の振込金額は、翌月20日に確定し翌々月20日に振り込まれます。 「現金化せずにポイントとして保持」という項目もあります。



印税をポイントにするか、現金で受け取るか選択できる

振込口座の設定をしたことがないのですが、アイコンとニュアンスから印税はおさいぽのポイン トとして取っておけるのだと思います。

印税の受け取りについては今回は割愛します(っていうか売上がないので…)。 約款など、詳しいことや不明な点はパブーにきちんと問い合わせましょう。

·購入設定

パブーで電子書籍を購入するには、おさいぽのIDが必要です。 今回はこちらも割愛します。

(詳しくは公式マニュアルの「<u>本を購入しよう</u>」をご覧ください。)

・退会する

パブーの退会はこちらで行います。

#### P4.本をつくる

[本を作る]をクリックすると、電子書籍の作成が開始となります。 赤く「\*」が付いている項目は必須項目です。省略できません。

・カテゴリ

作品検索で使われます。カテゴリ内での人気・新着順での並び替えなどもできます。

作品	検索					
ソート	人気順(総合)	<u>人気順(週間)</u>	<u>セールス順(月間)</u>	新着順	検索	マニュアル 💌

電子書籍を売るために、戦略的にカテゴリを選ぶこともある…?

・概要

電子書籍の一覧画面やサムネイルなどと一緒に表示されます。

	<u>バブーで遊んでみよう</u> 🖴 <u>マニュアル</u> 🕒 18ページ
ハコーキロ4回キアニュアル バブーで使人でみよう BH Trivitae	非公式なパブーの勝手マニュアルです。公式マニュアルに載っていないパブーの動作について、いろい気付いたことをまとめました。今はテキストの編集画面を中心にまとめています。(もしかして、 お役立…
Pulsa 🔮	≫ 2 😭 10 🖵 2 🥶 無料

サムネイルなどと一緒に概要が表示される

表紙画像を設定していない場合は、表紙ページに概要が表示されます。

表紙に画像を設定すると、表紙ページには概要が表示されません。

この場合、電子書籍内に概要を表示するのなら、表紙画像に概要の文章を入れるか、本文に概要 を入れるなどしてください。

#### P9.本の表紙画像を変更する

・表紙の画像

表紙に画像を使います。

パブーでは、表紙に使う画像を縦1024ピクセル×横724ピクセルで推奨しています。このサイズ だと、ちょうどPDFの1ページ目全体に表紙画像が表示されます。

ただし、表紙の一部を画像(たとえばタイトルロゴ)、一部をテキスト(たとえば著者名をテキ スト)にするということはできません。

したがって表紙画像にはタイトル、著者名を入れましょう(必要なら概要も)。

検索結果をカテゴリで抽出することもできる

画像を使わない場合は、表紙ページにタイトル、著者名、概要がテキストで表示されます。 ここの文字の装飾を変えることはできません。

また、本の一覧やブクログの本棚にはNO IMAGEのサムネイル画像が使われてしまいます。



表紙画像を使わないと、サムネイルはこの画像になる

これでは検索画面などで、サムネイル表示されたときに他の電子書籍と差別化が難しいかもしれ ません。

文字をベタ打ちしたものでもいいから、画像を使った方がいいと思います。

必須項目を入力して[本を作成する]をクリックすると電子書籍ができます。

これに本文となるページを追加していくと本として読めて、公開できるようになります。 (本文がないと公開できません)

イメージとしては、空のバインダーに、本文を書いた用紙を差し込んでいく感じです。



本を削除する場合は、[本の設定]画面の右下にある[この本を削除する]をクリックします。

本の久仆ル*	カテゴリ *	
本のタイトル	純文学	
概要 *		
ここには概要が入ります。		
表紙画像 参照	コメントの許可 受け付ける 💌	変更を保存する

目立たない場所にあります

### P10.章を設定する

章はバインダーでいうところのツメ見出しのようなものです。

目次にだけ表示されます。目次で章と本文を分けて階層状に表示したい、章単位でデータを扱い たい場合には章を設定しましょう。

表紙	
第1章	
1	
2	
第2章	
10	
20	
第3章	
100	
200	

目次では章の下の階層にページが表示される

ただし、章は本文には反映されません(章タイトルは本文に表示されない?)。 章扉を設ける場合は、章の先頭ページに章扉用のページを作成してください。

章はいつでも作成できます。 ページを作成してから章を作成してもかまいません。 章の間でのページの移動や、章の削除もいつでもできます。 (章を削除すると、章に含まれていたページは[指定なし]となります) **P5.**ページを追加して管理する

[ページ管理]画面では、各ページの文字数や状態などが確認できます。 ページの移動・編集・確認・削除が行えます。

編集	確認	状患	削除
1		完成	×
1		完成	×

[順番]の[↑]をクリックするとページが前へ移動、[↓]をクリックすると後ろへ移動します。 章をまたいでの移動も可能です。

順番	ページ	<u> </u>
♠ 🖡	1	1
♠ ♣	2	2
N P2	ø٢	↑」をクリックすると
P2 順番	<b>ወ</b> Γ ページ	↑」をクリックすると <sup>タイトル</sup>
▶ P2 順番 全 ♣	<b>ወ Γ</b> ページ 1	↑」をクリックすると ቋイトル 2

P2 が上に移動する

各ページにコメントをつけられますが、しおりとお気に入りは読者が付けてくれたものを確認で きるだけのようです。

確認ページは[本の確認][(章単位の)ページ確認][ページ確認]があります。 [本の確認]:マイページで本のタイトルをクリック、または[本の確認]をクリック。 その本に含まれているページが、すべて一覧表示されます。

[(章単位の)ページ確認]:章が設定されている電子書籍にて確認画面の目次の章タイトルを クリック。

その章に含まれているページが一覧表示されます。

本のタイトル <u>本の管理</u>	この本はまだ公開されていません(二の本を公開する)
	第2章
第1章	- 購入前の方には表示されないページです
<u>第2章</u>	<ul> <li>○</li> <li>○</li></ul>
* <u>10</u>	10
<u>第3章</u>	10
	Last Update : 2010-10-12 16:09:46
	購入前の方には表示されないページです
	<ul> <li>○ <u>0</u></li> <li>○ <u>0</u></li> <li>✓ (1)</li> <li>✓</li></ul>

章に含まれるページが一覧表示

[ページ確認]:[ページ管理]画面で[確認]をクリック、[ページ編集]画面で[ページ確認]をクリック

そのページのプレビューを見ることができます。

0

Г

		購入前の方には表示されないページです				
▲の管理 ▼ ・ UPLOAD		<ul> <li> <ul> <li></li></ul></li></ul>				
目次		10				
<u>第1章</u>		10				
第2章						
= 10		Last Update : 2010-10-12 16:09:46				
* <u>20</u>						
<u>第3章</u>						
		<u>≪前のページ</u> 次のページ »				

該当ページだけ表示される

[編集する]をクリックすると該当ページの編集ができます。 (本と章は、それぞれの設定画面で編集します)

#### P6.ページの作成と編集

詳細な操作方法については、マニュアルや『パブーで遊んでみよう』を参考にしてください。

テキストを入力する場合、[ウィジウィグエディター]でもできますが、テキストエディタからコピ ー&ペーストする方が便利です。

改行もきちんと反映されます。

パブーはログイン後、しばらく放置しているとタイムアウトするらしく、操作をしようとすると 再ログインを求められることがあります。そのため入力したテキストが消えてしまった…という ことがあるかもしれません。

また、パブーの仕様にかなったXHTML(ePub)が用意できるなら、[HTMLエディター]に貼り付け てもいいかもしれません。

(余談ですが、InDesignから書き出したePubでもテキストは表示できました) ただし残念ながら、今のところePubを直接アップロードすることはできません。

また、PDFのアップロードにも対応していません。

もし、用意できるデータがPDFや複雑な組みの組版データしかない場合は…PDFのサイズをパブーの推奨する1024(968)×724ピクセルにまで縮小した上で、JPEGかPNGに書き出し、それをページ に貼り付けるという方法が採れます。

以下、余談ではありますが...

Wordからもテキストのコピー&ペーストができますが、Wordのスタイルタグのようなものも一緒 に貼り付きます。



Wordで入力したものをパブーに貼り付けると...

文*				1.12			
В	Ι	U	s	E MAN	=		-
Font		-	1 -	Style	-	4	5

同じように貼り付けられる



Wordの通りに再現されるので、これがパブー的にというかePub的に許容される作りなのだとしたら、一番お手軽といえばお手軽かもしれません。

#### P7.ページ内に画像を挿入する

使える画像形式はJPEG、GIF、PNGのラスター形式の画像だけです。

SVGやFlashといったベクター形式の画像は残念ながら使えません。

したがってマンガや前項のPDFの件のような場合、ラスター形式の画像に変換してから貼り付けます。

ちょうどページ全体に画像が収まるように表示するには、以下のサイズにしてください(パブー の推奨サイズです)。

ページタイトルがない場合:1024×724ピクセル

ページタイトルがある場合:968×724ピクセル

画像の解像度に関しては『東京トイボックス』が参考になるかもしれません。 紙で印刷することを目的としないので、解像度はパソコンのディスプレイできちんと表示できれ ば問題ありません。

なお、アップロードした画像のファイル名はパブー用のファイル名に変換されます。

画像一覧はアップロードした順番に並んでいます。

もし、挿入する画像をファイル名で把握していた場合、画像一覧から探すのは困難となります。 そのためページ順に画像をアップロードするとか、アップロードしたら即画像を挿入するなど、 運用的に考えなければいけません。



ファイル名はパブー用に変換され、アップロードした順に並ぶ

## P11.ページの作成状態を変更する

本文が完成したら[作成状態]を[完成]に変更して、[変更を保存する]をクリックします。 これで、このページを電子書籍として公開することができます。 [下書き]のままだと、[本の管理]ではページは表示されますが、電子書籍上では表示されません。 ページを作成したら、本を公開する前にまずは[PDF・ePub]で中身の確認をしましょう。

[PDF出力オプション設定]で、PDFの書き出し方法を確認しておきます。 通常はデフォルトでかまいません。

(B)=		
	<b>ジェクト</b> で 左綴じ	PDF PP こ 一 の 右綴じ
余白		
	◎ 余白あり	<ul> <li>余白なし</li> </ul>

[PDF出力オプション設定]画面

[綴じ]は、PDFを見開きで表示したときに右ページから始まるのか、左ページから始まるのか設定します。

しかし右綴じにしても、文字組みが縦組みになるわけではありません。横書きにしか対応してい ないので、通常は左綴じのままです。

マンガの場合は右綴じにした上で、PDFの設定を見開きにすると通常のマンガのように読むことができます。

ただし、これらの設定は見開き表示にした場合に効果があります。

[更新する]をクリックすると、現在のページでPDFとePubが作成されます。 意図通りに表示されるか、ビューワで確認しましょう。

#### P12.本を公開する

表示の確認をしたら、いよいよ電子書籍の公開です。

[本の公開]を[公開する]に設定すると電子書籍が公開され、また価格の設定ができるようになり ます。

[PDF・ePubの作成]はチェックを外すと、PDFとePubがダウンロードできなくなります。 パブーのサイトで、ブラウザのみでの公開となります。

(『東京トイボックス』はPDFのみの公開ですが、どうやって設定しているのかわかりませんで した)

電子書籍として公開するのなら、ここはチェックを入れましょう。

[PDF出力オプション設定]は前項と同様です。

#### P13.販売価格を設定する

[無料・有料]で[有料]を選択すると、[本の販売価格]を設定できます。

価格は10~3,000円の間で決定できます。

[本の販売価格]を入力すると、著者に支払われる印税とパブーの販売手数料が自動計算されます。 パブーの取り分は30%なのですが、円未満の端数は著者に支払われる印税に繰り入れてくれる親 切設計のようです。

本の販売価格	101 円
おすおいすろ全類	1冊売れた時のあなたへの印税: 71 円
0321174,2 9,35,196	販売手数料:30円

販売価格を設定

さらに[有料]を選択していると、試し読みのページを設定することができます。

[著作権の確認]をチェックして、[設定を保存する]をクリックすると本が公開されます。 一度公開した本でも、この画面で[本の公開]を[非公開]に戻すことができます。

## P14.試し読み設定をする

有料公開している本には、ページ単位で試し読みの設定ができます。 試し読みの設定がされているページは、パブーのサイトからブラウザ上で読めます。 PDFやePubは購入してからでないとダウンロードできないので、試し読みはできないようです。

#### 公開した電子書籍の宣伝をする

[本の確認]では、Twitterやmixi、ブログパーツといった外部ツールとの連携が行えます。 また、[本棚に登録する]を使うと、ブクログの「バブー本棚」に登録されます。

外部連携	🔝 🕑 🕒 🖪 📑 🌐 ระชว) 🖪 เทเหล่า	ブクログ	₩ 本棚に登録する
ブログパーツ	この本をブログで紹介する		

いろいろな外部ツールと連携できる

これらツールのアカウントを持っていたら、この画面から自分の本を宣伝するツールにアクセス できて便利です。 [マイページ]では電子書籍を公開後、ダウンロードされた回数やお気に入りに登録された情報など を確認できます。

[入出金管理]では、売れた本に対する売上金額が見られます。 (私は売り上げがないので詳細はわからないのですが)

[リアクション]では、コメントやお気に入り登録をしてくれた読者を確認できます。 また、リアクションをクリックすると、コメントの内容などを見ることもできます。 パブーで電子書籍を作ろう

2010年10月20日 初版

製作

アイソメ万太郎

http://ameblo.jp/aisome-dtp/